

質問者 渡邊 直樹 議員

通告順1

質問事項 1	町長の出処進退について	質問の 相手	町長
<p>[質問要旨]</p> <p>昨年12月定例会における山内議員の一般質問に対し、令和8年11月実施の町長選挙に向けた自身の出馬表明の時期について「進退につきましては、当該年の6月議会と考えています」と答弁されました。</p> <p>そこで、この発言に基づき、改めて町長の進退に関する現在のお考えについてお聞きします。</p> <p>また、今後、町の様々な課題に向き合う町長として、備えているべき「政治姿勢や資質」について、併せて伺います。</p>			

質問者 渡邊 直樹 議員

通告順 1

<p>質問事項 2</p>	<p>老朽建築物の強風等による被害の未然防止と安全対策について</p>	<p>質問の相手</p>	<p>町長</p>
-------------------	-------------------------------------	--------------	-----------

[質問要旨]

本町においては、春先に急速に発達する低気圧、いわゆる「春の嵐」や、秋に偏西風に乗って急加速する台風、さらには年間を通した突風や強風により、町内各所で老朽化した住宅、空き家、物置などのトタン屋根や外壁が崩落・飛散する事例が見受けられます。

これらに対する緊急時の対応については、所有者自身による管理・片付けはもとより、近隣住民からの通報を受け、消防が臨機応変に対応する事例もあります。

しかし、こうした事後的な緊急対応だけでは限界があり、老朽建築物による重大な二次被害を未然に防ぎ、町民の生命と安全を確保するための「未然防止の仕組みづくり」こそが急務であると考えますが、次の点について伺います。

- ① 老朽建築物の危険箇所について、町民からの情報提供や報告の現状（件数など）について伺いたい。また、町民が危険を察知した際の通報窓口や、情報提供の重要性に関する啓発活動はどのように行われているのか。
- ② 緊急時における対応の判断基準や、その具体的な意思決定の仕組みはどうなっているのか。
- ③ 所有者への指導・勧告の迅速化と、それに伴う課題はあるのか。
- ④ 今後、老朽建築物が突風などの災害によって周囲へ被害を及ぼす危険性を鑑み、担当の建設課にとどまらず防災危機管理室とも連携し、「安全確保のためのガイドライン」を策定すべきと考えますが、町の認識を伺います。

質問者 篠原 真稚子 議員

通告順2

質問事項 1	児童生徒の SNS トラブル対策として、見守りアプリやフィルタリングソフト等の周知・啓発について	質問の相手	教育長
<p>[質問要旨]</p> <p>見守りアプリやフィルタリングソフト等の周知・啓発によって、親子で SNS 被害の怖さを知り、子ども達の心、体、未来を守るためのきっかけとなると考えるが、次の点について伺います。</p> <p>① 児童生徒のスマートフォンの保有率と使用の実態について把握しているのか。</p> <p>② 認識している SNS によるトラブルはあるのか。</p> <p>③ 見守りアプリ等の周知・啓発に向けて、どのように考えているのか。</p>			

質問者 篠原 真稚子 議員

通告順2

質問事項 2	多文化共生社会について	質問の 相手	町長
<p>[質問要旨]</p> <p>少子高齢化が進む中、地域社会の新たな担い手としての外国人が安心して暮らせる環境づくりは重要なことと考えます。</p> <p>多様性を認め合い、お互い様で支え合える社会の実現のため、町として多文化共生施策をどのように推進していくのか。これは「誰一人取り残さない」という人権尊重の観点からも重要と考えますが、次のことについて伺います。</p> <p>※多文化共生社会とは、この町に暮らす一人ひとりが国籍の違いや様々な社会的・文化的背景を認め合い、お互いに人格や個性を尊重しつつ、支えながら共に生きることができる社会のことを言う。</p> <p>① 増加が予想される外国人に対する支援や多文化共生社会の実現に向けて、どのような取り組みを行っているのか。また、今後検討している取り組みはあるのか。</p> <p>② 日常生活に必要な日本語学習支援についてどのように考えるか。</p>			

質問者 高橋 剛 議員

通告順3

質問事項 1	空き家対策について	質問の 相手	町 長
<p>[質問要旨]</p> <p>総務省「令和5年住宅・土地統計調査」によれば、令和5年10月時点で、全国の空き家は約900万戸にのぼり、空き家率は13.8%と過去最多となっています。このまま対策がなされなければ、2038年には総家屋の3軒に1軒が空き家になるとの予想も出ています。</p> <p>津別町においても、人口減少と共に空き家が増えています。町はその対策として、空家等撤去促進事業、空き家バンクの運営、ふるさと定住促進事業等、様々な施策を実施していますが、次の点について伺います。</p> <p>① 空家等撤去促進事業について、現在の経済的な事情を鑑みて、補助金を増額する考えはないか。</p> <p>② ふるさと定住促進事業の奨励金の増額は考えられないか。</p> <p>③ 本年度の予算において、「お試し住宅」が復活すると聞いていますが、いつから運用できるのか。また、利用者数はどの程度を見込んでいるのか。</p> <p>④ 空き家の売却や利活用の分野に民間企業が参入する「空き家のビジネス化」も広がり始めています。これにより、空き家再生に向けた手段も多様化していますが、今後、民間連携も含めて、新たに取り組む考えはあるか。</p>			

質問者 佐藤 久哉 議員

通告順4

質問事項 1	まちづくり基本条例について	質問の 相手	町長
<p>[質問要旨]</p> <p>現在、町の最高規範となる「まちづくり基本条例」の制定に向けて素案を検討作成中ですが、進捗が遅れていると聞いています。</p> <p>そこで、次の点について伺います。</p> <p>① なぜ、素案の作成が遅れているのか。また、現在の「津別町まちづくり基本条例策定委員会」の委員数は何名か。</p> <p>② 今後の条例制定までのスケジュールを再度お示しください。</p>			

質問者 佐藤 久哉 議員

通告順4

質問事項 2	まちなかの花壇について	質問の 相手	町長
<p>[質問要旨]</p> <p>今年度より国道沿いの花壇が大通の一部を除いてウッドチップを敷き詰めることになったと聞いているが、なぜ、このように変更したのか。また、その際、沿道の住民や自治会との協議はあったのかお聞きしたい。</p>			

質問者 佐藤 久哉 議員

通告順4

質問事項 3	人口減少に対する施策について	質問の 相手	町長
<p>[質問要旨]</p> <p>町は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を基に人口減少緩和に向け施策を推進し、現在は「津別町総合戦略事業」にシフトし、施策を進めてきました。</p> <p>しかしながら、先般の国勢調査の速報値ではオホーツク振興局内で最大の減少率となる13.7%という残念な結果を記録しました。</p> <p>そこで、次の点について伺います。</p> <p>① なぜ、人口減少が加速しているのか。総合戦略事業の効果をどう評価しているか。</p> <p>② 町長が今後、現在進行中のものも含め、必要と考えている施策は何か。</p>			

質問者 巴 光政 議員

通告順5

質問事項 1	原油やナフサ不足による影響と対策について	質問の 相手	町 長
<p>[質問要旨]</p> <p>米国・イスラエルのイラン攻撃により、ホルムズ海峡が封鎖されたことにより、原油の確保が困難になり、エネルギーや石油製品の価格の高騰や資材不足から、暮らしと営業を守るための対策を求めます。また、どのような影響を受けているのか、生活や営業を守る手立てが必要であり検討できないか。</p> <p>そこで、次の点について伺います。</p> <p>① 町内の企業が影響を受けているか、実態を把握しているのか。（資材が入ってこない、工期の遅れ、エネルギー高、休業補償）</p> <p>② 物価高と企業の把握の結果に対し、早急な支援が必要ではないか。</p> <p>③ ②に対し、相談窓口を設置して、要望を聞くことが必要ではないか。</p>			